

Mail 感想



お疲れ様でした。

県外唯一の実行委員として、なかなか協力ができなかつたですが、東京組を松山空港まで送らせてもらい やっと協力できた感がありました（笑）渋滞にあい かなりギリギリで焦りました。

気になったこと……………

- ①受付の時に 会費は払ったのに資料をもらっていない方がいて、後で苦情を言われました。
- ②翌朝の部屋点検は、随分待ちましたが 職員の方が来られないので、朝食会場に行きました。部屋で待たずにご迷惑をおかけしてしまいました。
- ③他の事例も知りたいと参加者が言ってましたが、発表資料を余分に持参してもらって、大ホールに置くなどの工夫(我が分散会の資料は残りを置きました)

異年齢の意見が、お互いを刺激しあい、とても意義ある集会だと思っています。

運営も大変でしょうが 次回の開催を楽しみにしています。皆さんで協力していきましょう。微力ですが、お手伝いします。まずはゆっくりとおやすみください。 高松/溝渕雅子

私の感想はただ一つ、今まで以上によかつたです。

毎年会がパワフルになっていく感じがします。自分も毎年成長している感覚があります。参加された全員が来てよかつた、いい交流ができた、今後の取り組みに参考になつたなど、なにかを感じてもらえるような会になるといいですね。私はちょうど議会中ということで、事前準備等に参加できなくてすみませんでした。来年以降は 退職しますので、何でもやらさせていただきます。 年輪塾処士 眞鍋 幸一

春日部市中央公民館、山下です。地域教育実践交流集会、大変お世話になりました。ありがとうございました。

関先生と8月に国社研の社教主事講習でお会いし、懇親会で飲んだところから、この大洲の事例発表につながりました。拙い事例発表でしたが、愛媛をはじめ全国の皆さまと交流できたことは大変嬉しかったです。これからも、様々な交流ができればと思っております。

このご縁を大切に、そしてまた集会にも参加することができればと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

春日部市教育委員会 社会教育部中央公民館 事業担当社会教育主事 山下 剛史

このたびは、大変お世話になりました。

当日はバタバタとしてしっかりお礼も申し上げられずに帰ってきたことをお許しください。

愛媛の地から帰ってきてからはや1週間が経ちましたが、未だ、余韻が覚めやらず、楽しい学びの場と多くの方々との出会い、ならびに、新たな気づきと発見が、大きな収穫となりました。あたたかく迎えてくださった仙波様はじめ、多くの関係者の方々に感謝いたします。若松委員長さんの巻頭言に述べられてあつた

「啐啄」の意味をしみじみと反芻しています。これぞまさしく、私たちの目の前にある「課題」ではないかと思っています。また、地域の教育力を高めるために、何が必要かを考えるヒントをいただきました。

特に、過疎化が進み、統廃合の審議が進む阿仁合小学校において、昨年からのご縁で実現した新居浜南高校ユネスコ部との交流会は、大変有意義なものでした。

今後も子どもたちの成長に活かしていけるよう、引き続きご指導をいただけますよう、お願いいたします。

師走のお忙しい時期を迎えます。どうか仙波様におかれましては、お身体をご自愛ください。また、愛媛の皆さまにお会いできますよう、楽しみにしています。

北秋田市教育委員会生涯学習課 松田 淳子

地域教育実践交流集会、お疲れ様でした。この度は申し込みのことや金銭面など、お世話になりました。本当にありがとうございました。

発表のときは、準備ができておらず、ご迷惑おかけしました。無事発表が終えられたのも仙波さんのおかげです。感謝しております。

今回、大学生として大人の会に参加しましたが、多くの刺激を受けました。こういう会こそ、大学生がもっと参加すべきであると思いました。また、今回、いろいろな地域の取り組みなどのお話をお聞きして、改めて、久米地区の地域の町おこしを、大学生を交えて地域で実践してる地域の力を感じることができました。そこで実際にほんの少しですがお手伝いさせてもらっていることが本当に貴重であると思いました。そして交流集会で同じような志を持った大学生と出会えたことも大きな収穫でした！

とても良い経験になりました。お世話になりました。

家高

お疲れのところ、早速のご連絡ありがとうございます。分散会では泉川公民館：篠原さんとご一緒の発表の機会をいただきました。また、今回も交流会での55の会のパフォーマンスの場もいただきました。ありがとうございました。多数の人たちの波動と力はすごいです。明日からも、じわっと頑張っていきます。

来年の日程も了解いたしました。準備・設営・残務処理など、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

トーンチャイムグループ すいてん・はーと

武智理恵

2日間、本当にお疲れ様でした。

残務も多いことと思います。私にできることがありましたら言ってください。昨年のように、ポストイットの感想をべた打ちしましょうか？

堺 雅子

2日間、本当に御世話になりました。

楽しいオリエンテーションに始まり、分散会では北秋田市の小学校と愛媛県の高等学校の交流を通した子供たちの成長を実感し、また牧之原市の首長部局を中心とした高校生の地域人材育成には様々な可能性を感じました。さらに、新居浜市の白井歌声喫茶グループの楽しい実践では、地域活動を通した高齢者の生き甲斐・健康増進・絆づくりへと発展し、地域活性化にもつながっていると感じました。また、交流会ではたくさんの方々とお話し、実際の活動についてお聴きすることができました。

2日目の「めざましトーク」「トークセッション」では、実践者の方々や専門家の先生方の忌憚ない御意見を伺うことができました。

2日間の交流集会を通して実感したことは、様々な組織や団体の方が、このような会を通して互いにつながり、励まし合い、力を合わせ合うことが、新たな力を生み出している。ということです。そこに、地域の教育力が生まれていくのだと感じました。「トークセッション」で関教育長のおっしゃっていたこの会の趣旨を、本当に体感できた2日間です。感動しました。

本当にありがとうございました。皆様に心より感謝申し上げます。また、お会いできることを楽しみにしております。

国立教育政策研究所 齋藤 有子

交流集会の実行委員に加えていただき、とても貴重な経験をすることができ感謝しております。学校勤務ではできない経験をしたいと思っておりますが、地域教育実践交流集会は願ったり叶ったりの場です。

実践交流集会は、大きな刺激になります。元気をもらえます。何かあったら頼れるつながりができます。それまで全く知らなかった人、出会えなかったかもしれない人が、この会を通じてつながり、これからの活動のパートナーになっていくかもしれないと思うと、すごいことですね。自分の人生の広がりを実感できましたが、出会うだけではだめで、これから本当のつながりを求めていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

第10回に向けて、気付いたことです。（報告集には載せないでください。）

① 受付の担当者と役割を決めておけばよいかと思っております。特に、11時30分からの事前打合せ時には、会場責任者が抜けるので、受付の人数が足りないように思っております。今年は、一般参加者の方がご厚意で手伝ってくれていました。その方が、「お金を私が扱ってよかったのでしょうか」と困惑されてました。

② 日曜日の朝のごみの処理を、中予の山口さんと元南予の中本さんに声を掛け、タマタマしました。これも、片付け（ごみ処理）の担当を内々で決めておけばよかったかなと思っております。私の場合、タマタマでしたので。来年は私がやります。誰か一緒にやる人も事前に決めておけば心強いです。

③ 退所点検の時に誰もいない部屋が多く、職員の方が困ってました。タマタマいた私が、代理で構わないということだったのでついて回っていて、目覚ましトークに遅れそうになりました。これもタマタマでした。各部屋の責任者を決めておくとよかったかもしれません。

④ 司会者の中に旅費が出ると思っていた人がいて、出ないと知ってちょっとだけ不服そうでした。基本、手弁当での集まりだということで理解してもらいました。

以上、細かく決まり事を作って堅苦しくなるのはどうかとも思いましたが、気付いたことを書きました。それと、あまりにも仙波さんの負担が大きすぎるのではないかと気が掛かりです。といっても、私が何か代わりをできるかという、力不足で何もできません。できることはしますで…。どうか、お体にお気をつけてください。いつか、ゴルフを教えていただけると嬉しいです。長文になり、申し訳ありません。

東予教育事務所 柳瀬

週末の地域教育実践交流集会では、大変お世話になりました。ありがとうございました。無事帰京し、バタバタと仕事をしております。

大会運営、お見事でした。（参加者の皆さんも、さすが、という動きでした。）

昨年同様、2月中下旬に全国フォーラムを開催したいと思いますのでよろしく願いいたします。まずは、御礼まで。

文部科学省生涯学習政策局社会教育課 課長補佐（併）社会教育官 佐藤 秀雄

第9回地域教育実践交流会ではたいへんお世話になりました。また、長期間に及ぶ準備、運営とお疲れ様でした。

今回は、第3分散会の司会を仰せつかり、緊張の中、十分な責務は果たせたか不安ではありますが、自分自身にとって、新たな学びが得られました。誠にありがとうございます。

3つの事例発表それぞれ、刺激を受けるもので、たいへん参考になりました。今回の集会で学んだことを地域に持ち帰って、生かしていきたいと思います。

これから、寒くなってまいります。お体をご自愛され、ますますのご活躍していただきますようお祈りいたします。

野村教育課 清家

すっかりお世話になりました。お陰様にて今回も実り多い集会となりました。

特別企画トークセッションは私たち実行委員にとってはタイムリーな話でも、登壇者の顔ぶれから、少しハイレベルな話になるだろうと予測し、初心者や一般参加者にも分かりやすいめざましトークにしようと思いを配ったつもりですが、登壇者もまあそれなりに絡んでくれました。

東・中・南予のブロック集会も、少し支援のテコ入れをしないとまだ右往左往しているようです。今のところ中予18日、南予4日へは出る予定ですが、東予5日の予定が1年前から入っていてどうしても調整がつかみませんので、悪しからずご了承下さい。

今後のことについては一度讃岐先生を交え、極内輪の何人かで、話し合っただけの方がいいような気がします。でないと実行委員会や設立準備会などのシナリオが描けないような気がしています。激務でしたから、何はともあれ少し休養をして下さい。

とりあえず取り急ぎお礼まで。

人間牧場主・年輪塾々長 若松 進一

お疲れさまでした。わが感想は一つです。

朝夕、ならびに進行中の働きを見ました。あなたと長島さんの後任を育てない限り、11回以降の会は危うい！と思いました。

讃岐先生の跡を継ぐ理論家も見つけなければならないですね！！

すべてがあなたの肩にかかっているようですね。四国全体に広げられないでしょうか？とにかく小生に関しては、何から何までお世話になりました。金をもらってやるのは、今は楽でも、あとが大変ですね！！自前で

やって来た福岡は「正解」だったと今更ながら再確認したところです。新しい方との出会いも頂きました。ありがとうございました。我々もこれから5月の準備にかかります。

三浦 清一郎

第9回大会の盛会おめでとう御座います。全国から発表者を招き、多様にして内容のある大会になり、参加者としてまたまた元気をもらいました。大学生の参加もうれいでした。（大学教員として、このような交流会に参加すると学生が変わる・・・皮むけることを毎年経験してきました。参加した学生の方が消防や警察・役場の採用試験に合格して行くのです。・・・ここ（学生参加）に（学生成長の）何かがあります。大事です。）

分科会でも、広島の玖波公民館の取組、地元愛媛の子どもチャレンジ、中萩公民館の事例等素晴らしいでした。新鮮に感じました。

目覚ましトークは、北秋田、福島会津の事例は、鉱山をキーワードに広域交流、高齢者の伝統・知恵を生かし、過疎に立ち向かうお土産開発の新しい風に注目しました。

トークセッションは、登壇者が良かった。滅多に見られない登壇者のトークでした。内容も面白かった。「異業種交流は意義が有る。」「意義が有るようになるにはどうするか」「異業種を化学反応させて、効果的にするにはどうするか」です。北海道の成田さんの取り組みには感動しました。元気をもらいました。これからの公民館復活のモデルをいただき感謝しています。交流ください。

地域は、地域の教育は、地域の活動は、行政の縦割りを超えて既に交流が始まっており、この交流のエネルギーは、トランプアメリカ大統領が「壁」を作っても効果無いでしょう（ソツと笑う）。

このような県域を超えた行政の枠を超えた「交流会」は、「交流会」で、異業種を化学反応させて、効果的にするにはどうするか」が、今後問われると思われれます。急激に変化する時代に地域の現場が対応するには、化学反応の場づくりが、さらに求められると思われれます。よろしくご指導御願います。さらに、この大会を運営し、転がしている仙波さんをはじめ、スタッフの皆さんには頭が下がります。尊敬です。

「籠に乗る人！ 担ぐ人！ そのまた草履を創る人！」

讃岐先生が顧問になられ、若松会長、真鍋副会長、スタッフの皆さん、事務局の仙波さん・・・動く組織、機能する組織を見せて頂きました。ありがとう御座いました。

九州福岡組は嬉しく帰りました。感謝！

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会：古市勝也（九州共立大学）

3年ぶりの参加でしたが、参加者も多くなりどの分科会も満杯でなかなか入れませんでした。それだけ盛会だったと思いますし、仙波さんをはじめ、準備から当日の運営までの実行委員、関係者の皆様のご尽力に「ご苦労様でした」と言います。

特に、大学生の参加者の多さにも驚きました。大学時代をポーと過ごした自分と比較し、学生時代に地域教育について学習の機会を持っている彼らに「頑張れ！！」というエール送ります。きっとこれからの生き方に大きなプラスになると思います。願わくば懇親会の時の各県参加者紹介の時、学生も自分の出身県の参加者の中に入れるようにしていただければ学生にとっても出身県の皆さんと交流ができたと思う

いました。

15 分散会×3 事例発表方式は最初から参加したものと愛媛方式の定着と感じました。実践事例の掘り起こしという意味で成果は大きいと思います。また一方参加者割り振りはどの分散会も満杯になるというメリットはあるかもしれませんが、もう少し分散会の数を絞って、選択参加になれば参加者の期待や満足度に違いが出てくるのではと思いました。すみません、私は遅れましたので 1 席空いている分散会に入れてもらいました。

文科からの支援を活かされ、全国の実践事例が集まったことはさすがと思いましたが、助成が無くなった時は気になります。10 回大会、11 回へと更なる充実・発展を期待しています。福岡でもまもなく準備が始まりますが、福岡県の実行委員としては、今年度は後他県には宮崎県、長崎県、大分県に出向く予定です。各県の取り組みを第 36 回福岡大会に活かしていくつもりです。来年 5 月 20 日～21 日、愛媛県の皆様に福岡大会でお会いできることを楽しみにしています。お世話になりました。ありがとうございました。行きも帰りも大洲駅まで送迎していただいた交流の家の佐藤さんにもよろしくお伝えください。

森本 精造

2 日間、大変お世話になりました。予想以上に、熱くて濃い 2 日間でした！

関さんが、事務局の仕事は、全て仙波さんがやってくれた、とおっしゃってましたよ。本当にお疲れ様でした。とにかく、いろいろな職種の方々が集結しているのに、驚きました。特に、現役の学校の先生が参加されているのに、びっくりしました。うちの県では、県主催で学校と地域の連携といったテーマの研修会ですら、先生方の出席が得られない状況です。それなのに、休みの日に、自主的に参加されているなんて、その意識の高さに感服しました。

あと、同じ分科会で、久米公民館のふれあい食堂の取り組みの報告を拝聴しました。そのボランティアの方の多さに驚きました。これは、日頃からの地域のつながりの強さのたまものですね。すばらしいですね。これから、報告書の制作にも携わられるのだと思いますが、楽しみに待っております。とりあえず、ひとまず、ゆっくりお休みください。ありがとうございました。

佐藤 房枝

愛媛大洲の第 9 回地域教育実践交流集会では、大変お世話になりました。

歓迎アトラクションの太鼓では、気合の入った大洲臥龍太鼓、子どもたちが頑張っていた伊予堂々太鼓、波方町養老獅子保存会の四段積みの獅子舞は、すげー迫力でした。

運命のくじ引きでの分散会は、No.9 を引きました。

牧野原市の取り組み

高校、大学、地域が連携協働し、地域に対して誇りと愛着を持ち地域の課題解決に貢献する人材を育成するを目的に二つの高校で行われた、「学び合いの場」「学び合いの場デザイン会議」では、128 名の参加者。様々な意見が出て議論を終えた学生さんからは、地域を好きになれた！地元に残りたい！など、地域愛に目覚めた子ども達ができたらいい。

この発表を聞いて、「ほんまやなぁ」と思いました。みんなで話す機会がかなり少なくなっており、いい新しい

アイデアが生まれることは、少ないよなあ〜。と、逆に言えばもっと話す場を作るべきなんですよ！はい、今からやります！

放課後子ども教室「生石子どもいきいき教室」

フツーのおばちゃんが10年工作、理科実験を行う！やり方は本当に素敵！地域のおばちゃんはたくさんの人を巻き込んでおられました。元教諭、公民館長、等。なんせ、子どもの嬉しそうな顔をスライドで見ました。今からは、後継者を育てること、未長く学校で実験やってね！

天神親 JJ の会

典型的なオヤジたち！自分の子ども達の友達や学年をまとめ、川遊び、キャンプをやってのけ、真剣に子どもと向かい合い真剣に遊ぶ！これがおやじの会発祥の原点。今は存分に楽しんで、楽しみを相伝して行って繁栄させて欲しいところです。

NPOおのみち寺子屋

第14回人間力育成塾 4日間で100キロを歩いた小学校の思い出を胸に、参加する子ども達の為に頑張れるあなた達は本当素敵です。パワーもらいました。

愛媛の旅を終えて

愛媛県教育委員会、教職員の皆様、NPO、全国のオヤジ子どもを中心に様々な活動を一生懸命行っている皆様。独立して行っている様々な活動を知り、繋がり今後の糧に出来るパワーをもらいました！皆様、本当にありがとうございました。今後ともご指導よろしく申し上げます。

大崎 哲生（兵庫県姫路市 水上夢倶楽部 おやじの会）

あつと言う間の3泊4日!!

素晴らしい景観、久々の再会の仲間達、美味しい食べ物。

実行委員の皆さん2日間お疲れ様でした、今回素晴らしい発表会に参加させて頂き本当にありがとうございました。たくさん、学ばせて頂きました。そして、愛媛のおやじ井戸端会議をはじめ、愛媛の多くの皆様、心からのおもてなしに感謝致します。そして、忙しい中、熊本、福岡、姫路、東京、高松の大切な仲間達と過ごせた時間!! 感謝、感謝です！ありがとう〜。またの再会のため、仕事、おやじの活動を頑張ります！

森田 圭三（札幌おやじネットワーク）

最初だけしかおれませんでした、なんとすごい集会なのでしょう。私は感激しました。様々なご準備大変だったと思いますが、人と人とのつながりや温度が感じられました。よいご縁をありがとうございました。

堀 史さん（熊本市立京陵中大楠の会）

参加した多くの皆様から「いい会だ」「もっと早く知りたかった」「来年もぜひ参加したい」という声をいただき、交流会がその目的をしっかりと達成しているのだと実感いたしました。実行委員会形式での交流集会だからこそ感じられる感動の度合いが、実行委員にも参加者にもあるのだと思います。運営上、特定の実行委員に負担がかかっているように感じられる部分は、それこそ「できる人が、できるときに、できることを笑顔でやる」という精神で乗り越えてきています。実行委員には、今一度、手弁当方式における自分の役割を

認識して行動していただければ、10回以降も滞りなく続いていくのではないのでしょうか。

15名のファシリテーターの皆さんには、多用な中、大役を引き受けてくださって、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。できれば、夜の交流会や2日目のプログラムにも参加してほしかったです。なぜなら、分散会の熱い議論の収束と課題を実現するための着火の役割があるからです。

80人以上の公民館関係者に直接語りかけましたが、そのうち、ファシリテーターを引き受けてくださったのは10人ほどでした。素晴らしい交流会だからこそ、地域教育の実践の最前線で住民を牽引し、後押しする役目を担っている公民館関係者に、もっと来てほしいと思います。そして、一度は社会教育行政に従事し、「つながりや実践の大切さ」を語っていた先輩の皆様をはじめとして、社会教育と学校教育を結びつける役割を果たせる社会教育主事有資格者の皆さんにももっと足を運んでいただきたいものです。公民館主事や社会教育主事有資格者に働きかけるのは、県教委の役目なのですが、「まだまだ弱い！」と痛感しております。

分散会の45事例の素晴らしさを、他の分散会の皆さんとも共有できないか…。例えば、1事例を1分間でプレゼンする時間をとってはどうか。時間帯は、初日の17:45～19:00までの75分間。記念撮影時が最も人が多いことや、そのあとの交流会において相互の交流がもっと広がること等の効果が期待できます。

「また来年も来るよ」と熱く語っていた人たちが、翌年も来るというリピーター率の高い集会であるからこそ、その良さをもっと広げるための知恵を出し合いたいものです。

中尾 治司（実行委員）

